



平成 19 年 3 月 26 日

各 位

上場会社名 株式会社 学習研究社

代表者名 取締役社長 遠藤洋一郎

本店所在地 東京都大田区上池台 4-40-5

コード番号 9470

(情報取扱責任者)

取締役経理部担当 中森知

TEL 03-3726-8051

業績予想の修正及び特別利益・特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 17 日中間決算発表時に公表した、平成 19 年 3 月期の通期業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、特別利益・特別損失が発生いたしましたので、その内容について併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）単位:百万円

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 17 日発表)	78,200	100	0
今回修正予想 (B)	78,500	△ 300	800
増減額 (B-A)	300	△ 400	800
増減率 (%)	0.4%	△ 400.0%	— %
前期(平成 18 年 3 月期) 実績	84,211	878	△ 5,110

2. 平成 19 年 3 月期 通期単独業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）単位:百万円

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 17 日発表)	68,000	200	100
今回修正予想 (B)	68,000	0	800
増減額 (B-A)	0	△ 200	700
増減率 (%)	0.0%	△ 100.0%	700.0%
前期(平成 18 年 3 月期) 実績	70,864	461	1,295

### 3. 修正理由

#### (通期業績・連結)

直販事業につきましては事業構造改革の成果により、ほぼ計画通りの結果となる予定であります。市販事業につきましては、書籍分野では児童書・一般書・学参書・医学書が好調に推移したものの、雑誌分野においては厳しい状況で推移しており、売上・利益ともに計画をやや下回る予定であります。能力開発事業につきましては順調に推移しておりますが、その他事業におきましては、ウェルネス事業の出店計画の見直しにより計画乖離となつたことなどから経常利益につきましては、連結業績予想数値を下回る見込みであります。

また、平成19年3月28日に学研第2ビルの土地・建物を譲渡することによる、固定資産売却益を特別利益として計上を行うこと、連結子会社である株式会社学研ジー・アイ・シーについて、関係会社整理引当損を特別損失として追加計上すること、来期より稼動する新基幹システムにより、旧システムとなる現行ホストコンピュータ関係について減損損失を計上すること等、特別利益・特別損失の計上を行う予定です。

この結果、特別利益の合計は1,960百万円、特別損失の合計は700百万円の計上を見込んでおり、当期純利益は連結業績予想数値を上回る見込みであります。

なお、特別利益の詳細については本日公表の「固定資産の譲渡に関するお知らせ」をご覧下さい。

#### (通期業績・単独)

直販事業につきましては事業構造改革の成果により、ほぼ計画通りの結果となる予定であります。市販事業につきましては、雑誌分野において男性誌の不振や競合誌の増加、広告収入の減少など厳しい状況で推移しております。売上・利益ともに計画をやや下回る見込みであります。また、能力開発事業につきましては順調に推移しており増収となります。その他事業につきましてはネット事業にかかる初期投資や、海外版権事業の不振等により計画乖離となる見込みとなつたことから、経常利益は単独業績予想数値を下回る見込みであります。

また、平成19年3月28日に学研第2ビルの土地・建物を譲渡することによる、固定資産売却益を特別利益として計上を行うこと、連結子会社である株式会社学研ジー・アイ・シーについて、関係会社整理引当損を特別損失として追加計上すること、連結子会社である株式会社学研ココファンと、株式会社パーゴルフ・オンラインの出店計画の遅れに起因する投資の回収見込期間が当初計画より大幅に長期になるため、投資元本に対し投資損失引当損を特別損失として計上すること、来期より稼動する新基幹システムにより、旧システムとなる現行ホストコンピュータ関係について減損損失を計上すること等、特別利益・特別損失の計上を行う予定です。

この結果、特別利益の合計は1,960百万円、特別損失の合計は1,060百万円の計上を見込んでおり、当期純利益は単独業績予想数値を上回る見込みであります。

なお、平成19年3月期の1株当たりの予想年間配当金（4円）については変更ありません。

また、特別利益の詳細については本日公表の「固定資産の譲渡に関するお知らせ」をご覧下さい。

以上の理由から、通期業績について修正いたします。

※ なお、業績の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因の変化により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

### 3. 特別利益計上のお知らせ

#### (1)連結決算及び単独決算(通期)

①固定資産売却益 1,960 百万円

当社所有不動産である学研第2ビル(土地・建物)の売却により発生するものであります。

なお、当固定資産の譲渡の詳細は、本日公表の「固定資産の譲渡に関するお知らせ」をご覧下さい。

### 4. 特別損失計上のお知らせ

#### (1)連結決算(通期)

①関係会社整理引当損 370 百万円

連結子会社である株式会社学研ジー・アイ・シーの事業整理に関する残存債務の精算費用等の見積額を、関係会社整理引当損として追加計上することとしました。

なお、当中間連結決算期において、関係会社事業整理引当損として 121 百万円追加繰入を行っておりますため、当第4四半期における実質繰入額は 249 百万円となります。

②減損損失 210 百万円

新基幹システム(SAP 社)稼動により、現行ホストコンピュータシステムの廃止及び撤去に係る一連の費用について減損を認識したため、減損損失として計上することとしました。

#### (2)単独決算(通期)

①関係会社整理引当損 370 百万円

連結子会社である株式会社学研ジー・アイ・シーの事業整理に関する残存債務の精算費用等の見積額を、関係会社整理引当損として追加計上することとしました。

なお、当中間連結決算期において、関係会社事業整理引当損として 121 百万円追加繰入を行っておりますため、当第4四半期における実質繰入額は 249 百万円となります。

②投資損失引当損 350 百万円

連結子会社である株式会社パーゴルフ・オンライン及び株式会社学研ココファンは、出店計画の見直し等を原因として事業計画と実績の乖離が大きくなっています。当社は両社に対する投資元本の回復は可能と判断しておりますが、相当の期間が必要と考えられる為、投資元本に対し投資損失引当金を設定することとしました。同引当金への繰入額を投資損失引当損として計上する予定であります。

なお、この投資損失引当損は連結決算上消去されます。

③減損損失 210 百万円

新基幹システム(SAP 社)稼動により、現行ホストコンピュータシステムの廃止及び撤去に係る一連の費用について減損を認識したため、減損損失として計上することとしました。

以上